

第2回 設計ワークショップ[まとめ]

Think 図書館でどんなことがしたいか考えよう

2019 5/11 土

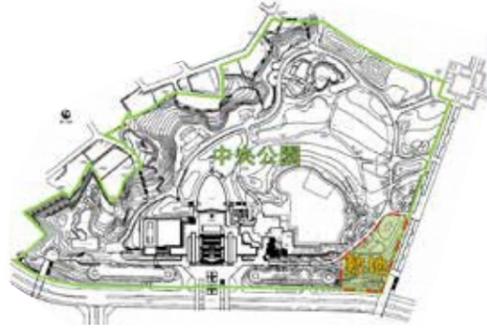
●第2回ワークショップの流れ

- 1.はじめに・前回のおさらい
- 2.ゾーニングの考え方について
- 3.先進事例の紹介
- 4.グループワーク…図書館でどんなことがしたいか考えよう
- 5.発表
- 6.さいごに

●ゾーニングの考え方について

①計画地の位置づけ

公園という大きい入れ物のふちに図書館の敷地があり、公園、まち市民をつなぐ図書館



②アクセス・動線の整理

敷地の高低差や様々な方向からのアクセスを考慮し、車でのアクセスと歩行者等のアクセスを再確認



③階構成

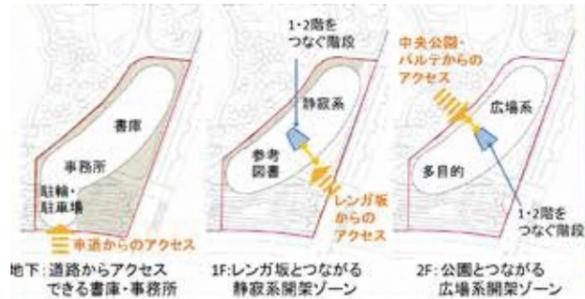
- ・中央公園とレンガ坂につながる階は開架ゾーン
- ・車道からつながる地下階は思いやり駐車場・書庫・事務所ゾーン



④各階ゾーニング

- ・地下階、1階、2階それぞれに主出入口を設ける
- ・1・2階をつなぐ階段により、レンガ坂と中央公園の行き来ができる

- ・地下階は駐輪・駐車場、事務所や書庫を配置
- ・1階は静寂系開架ゾーンと参考図書を配置
- ・2階は広場系開架ゾーンと多目的なゾーンを配置



●先進事例の紹介 (抜粋)

常世田 良 立命館大学文学部教授による図書館の機能やスペースに関して最新事例を紹介頂きました

①現代社会の変化に伴う図書館の変化 (メディアの変化、サービスの変化)

電子書籍等の普及により、図書館が商用データベースの無料提供やレファレンスサービスとして地域の問題を解決したり、ビジネス支援を行うなどサービスの多様化が見られる



シアトル市立中央図書館 商用データベースを見る市民の方々

②ラーニングcommons

市民の交流や学びを支援する場のこと。市民が交流したり図書館の資料を利用したディスカッションなどを行う場



塩尻市立中央図書館 市民が交流したり学ぶ様子

③メーカースペース

3Dプリンター、カットマシン、プログラミングなどができる場で、市民のビジネス支援にもつながる



シカゴ市立中央図書館 メーカースペース

④図書館の機械化・AI化

予約本の自動貸出やロボット導入による図書の仕分け、AIによるレファレンスによりサービスの向上や職員の負担軽減を図る



安城市立中央図書館 予約資料の24時間貸出

●グループワーク発表内容 (抜粋)

グループA

各階におけるサービス・機能配置と、図書館サービスへの提案について意見ができました

- ・地下は、採光通風条件を考慮した職務環境。
- ・閉架書庫を公開書庫としてはどうか。
- ・静寂系フロアに高齢者の居場所を計画。
- ・生活や法律相談等について、行政と連携した相談コーナー(行政サービスとして、市政に直接声が届く環境)
- ・広場系フロアに中高生用の小さめのラーニングcommons。その近くにプログラミングやアニメ・動画・ゲーム制作ができるメーカースペース。
- ・24時間ブックポスト。
- ・ボランティア案内、就労支援情報を得られる図書館。
- ・職員の名札にサービス可能な専門分野やニックネームなど親近感を感じられる工夫。



グループB

公園とのつながり、図書館サービスの拡充について意見ができました

- ・公園と図書館が一体利用できる仕掛け(例:図書館で図鑑借りて公園を散策など)
- ・ボランティア・市民活動は、だれもが活動内容を感じられ、飛び入り参加などしやすい雰囲気にしてほしい。
- ・CDの充実、映像アーカイブ等の有料コンテンツも図書館で無料で見られるサービス。
- ・お掃除ロボットの導入をして、日々のお掃除と共に市民のプログラミング学習の教材にも活用できる。
- ・フリーWi-Fiの利用やタブレットの貸出サービス
- ・図書館「本館」よりも「総合」図書館と考えた方が理想としている図書館像に合う。



グループC

図書館全体のサービスや機能についての提案と職員の働く環境の向上について意見ができました

- ・屋上緑化や太陽光発電など屋上を活用した省エネ化。
- ・学童保育の代わりなど地域課題を解決できるサービス。
- ・広場系フロアに展示・講演・お話し会ができる多機能な市民活動室、みんなで学べるスペースの配置。
- ・子どもが利用しやすく楽しめる工夫。
- ・新着本やおすすめ本のわかりやすい配置。
- ・静寂系フロアと広場系フロアに対する音の配慮。
- ・働く人のための24時間の予約本貸出サービス。
- ・地階に自然採光を取り入れたり、職員の休憩室や働く環境を充実させることで、市民サービスの向上につながる工夫。



グループD

多目的利用に対する部屋やそれらに対応できるような図書館サービスについて意見ができました

- ・本の空間以外に、音楽が流れたり、演奏会、講演会・ワークショップができるスペースなど多目的に利用。
- ・中庭読書室など公園の森とつながるような図書館。
- ・24時間使えるきれいなトイレ。
- ・レンガ坂側も正面であるのにぎわいが見えると良い。
- ・子どもに対してサポートができる司書など、子どものレファレンスサービスや、レファレンスを分散配置してサービスを充実化。
- ・展示スペースも兼ねたスロープで移動空間を楽しく。
- ・緊急時や災害時の対応(例えばAEDなど)ができるようにする必要がある。
- ・監視カメラで本の盗難防止。



グループE

利用者の観点と運営側の観点からサービス・機能とスペースについて意見ができました

- ・職員が働きやすい動線、拡張性のある書庫を確保する。
- ・ICカードや携帯などICT化を取り入れたサービス。
- ・課題解決できるボランティアのためのスペースやレファレンスカウンター。
- ・運用の負担を考慮した開館時間延長の検討。(地域館や返却ボックスの兼ね合いを考慮した柔軟性のある計画。)
- ・荷物を置けるロッカーの設置やベビーカー利用者への配慮。
- ・静寂読書室や読書会室。
- ・天体観測ができる屋上。
- ・市民活動、講演会、子どもの読み聞かせ、大人の読書会ができるスペース。
- ・ラーニングcommons、研究者用のデータベース導入。



グループF

様々な利用者の立場から図書館サービスの充実化を図る意見ができました

- ・駐輪場は全フロアに、オートバイの駐輪場も確保。
- ・AIを使ったレファレンスや、分野別(ビジネス、医療、地域など)のレファレンスカウンターの設置。
- ・PCが苦手な人(情報弱者)に対するサービス。
- ・同じ本が好きな人と交流出来るシステム。
- ・託児所(利用者/職員向け)を設置希望。
- ・公園利用者向け閉館時も24時間使えるトイレ。
- ・図書館利用時にペットが待っているスペースの確保。
- ・屋上で星が見えるスペースに宇宙の本をおくなど、スペースと情報をつなげる配架。
- ・外国人の利用を見据えた翻訳機の設置などの工夫。
- ・新聞保存を電子(データベース)化して省スペースに。

